

乳幼児教育相談の方針

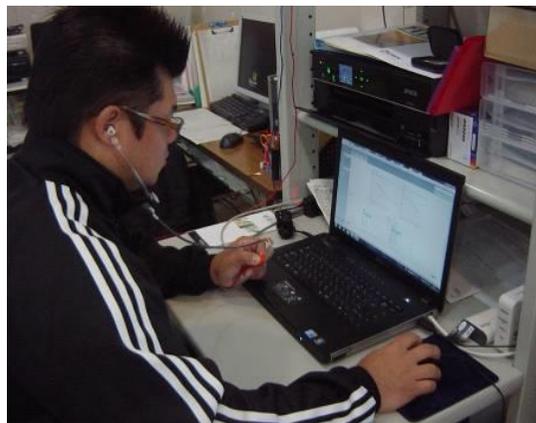
- 乳幼児期からの安定した親子関係づくり・共感関係を大切にします。乳幼児期にふさわしい生活や遊びを通して、心身の調和のとれた発達が促されるよう支援します。
- 保有する聴覚を最大限に活用するとともに、実態に合わせた多様なコミュニケーション手段も活用、併用しながら、親子が確実に豊かに伝え合えるように支援します。
- 遊び場面での観察や、「生活記録」、懇談などの中で得た情報と聴力測定等の結果から、聴力の把握と必要に応じて補聴器装用の提案、および調整を行っていきます。
- 聞こえやことばだけでなく、全体的な発達（身体の発達、心の発達、遊びの発達）など、色々な角度から発達を見て支援します。
- 医療や福祉、発達支援、保育園・幼稚園などの関係機関との連携も取りながら子どもさんへ多方面からの支援を行っていきます。

乳幼児教育相談の内容（0歳～小学校就学前）

- 聴力測定
- 補聴器の装用や調整に関する支援
- 人工内耳の術前術後の療育の支援
- 言葉やコミュニケーションの発達の支援
- 体と心と言葉の全人的な発達に関する支援
- 軽度・中等度難聴、一側性難聴の幼児の療育についての支援
- 保護者の子育ての支援
- 保護者の聴覚障害理解のための支援
- 同じ障害のある子ども同士、保護者同士の交流
- 医療・福祉・保健など関係機関との連携
- ろう学校幼稚部入学、地域の幼稚園、保育園への入園に関する相談など



状態に応じた検査法を選択し、結果を積み重ねることで、聴力の確定を進めます。



聴力の変化や装用状態に応じて、補聴器の調整を実施します。



より良い聞こえのために、補聴器や人工内耳が正しく作動しているかをチェックします。

聴力測定

補聴器装用のサポート

補聴器・人工内耳のチェック



お子さんと関わりながらコミュニケーションのとり方を具体的にお伝えします。保護者の方の日頃の悩みについて、相談をお受けします。



きこえやことばの発達、補聴器や人工内耳、子育て上の配慮などについてのお話をします。



合同で、簡単な活動（制作・リズム遊びなど）をします。幼稚部（3・4・5歳児）と季節の合同活動も行います。

個別相談

保護者学習会

合同活動